

Gm

Governor's Monthly Letter ガバナー月信

Contents

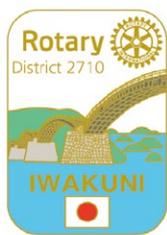
ガバナーメッセージ/今月の表紙	2	RYLA開催報告	6
青少年奉仕月間に寄せて	3	PETS&地区チームラーニングセミナー	7
インターシティミーティング開催報告	4・5 (G3/G4/G5/G9/G12)	新会員・物故会員紹介	8
		会員増減・出席率	8



ガバナー
 信条

「変革に取り組もう」

行動しよう 未来のために。



今月の特別月間
 青少年奉仕月間



青少年奉仕月間

国際ロータリー第2710地区 2024-25年度ガバナー 上田文雄

2月から4月にかけて、各グループでインターシティミーティング (IM) が開催されました。ガバナー月信にも紹介がありますが、各ガバナー補佐を中心に、各グループの実情に合わせた素晴らしいIMになったと思います。環境問題、平和問題、DEIなど様々なテーマに取り組んでいただきました。この中でグループ1は、西村パストガバナーによる～さらに魅力を高め～「クラブの歴史と伝統を継ぐ」というテーマの講演の後に、参加者全員が10人程度のグループに分かれ、RLI方式で、例会の活性化、奉仕活動、会員増強、職業倫理をいかに高めるか、の4つのテーマについて、全員が意見を言う方式で行われました。参加者はほかのクラブのことを知ることでとても良かったと言っていました。私も公式訪問では聞けなかったことも聞けて、大変参考になりました。他のグループでもグループ内の各クラブの交流の方法として参考にしてください。

さて、5月は青少年奉仕月間です。公式訪問で回った時に、会員の少ないクラブでは、多くの奉仕活動には取り組めませんが、青少年奉仕には取り組んでいるというクラブが多かったと思います。それだけ青少年奉仕の価値が認められているのだと思います。

一方、ローターアクトはRIとしては青少年奉仕の対象ではなくなりました。そこで今年度から、ローターアクトの3年間の地区代表3人に地区のローターアクト委員会に入ってもらう、ロータリアンと協力してマツダスタジアムでのロータリーデーの開催や、岩国の米軍基地開放デーでの募金活動を計画しています。青少年奉仕の対象ではなくなりまし

たが、実態に合わせ、各クラブとしては今後ともローターアクトの自立に向けて支援をお願いします。

3月には地区RYLA (ロータリー青少年指導者養成プログラム) を岩国において開催しました。更に、5月10・11日には、全国RYLA研究会広島会議を宮島口のホテルで開催します。全国各地から代表が集まり、各地区のRYLAの取り組みなどについて話し合います。地区にはRYLA委員会はありませんでしたが、次年度からは青少年奉仕委員会がRYLA委員会も兼ねることになります。地区RYLA委員会が担当クラブを支援しながら開催することになります。インターアクトはコロナ禍で中断していた韓国3690地区との日韓交流事業も昨年度再開し、山口県内のインターアクターに参加してもらい、今年度は広島県内のインターアクターに参加してもらいました。参加者にとっては人生の中で記憶に残るインパクトのある経験になったと思います。課題がある事業としては、青少年交換プログラムがあります。地区としては4名の派遣と受け入れを計画していましたが、残念ながら2名の応募にとどまっています。地区の委員会としても学校に働きかけて、応募者を増やす取り組みをしています。現状では受け入れクラブが限定されています。ぜひ多くのクラブで青少年交換事業に取り組んでほしいと思います。

今月の表紙

米海兵隊と海上自衛隊の共同で開催されるフレンドシップデーは日本最大級の航空祭。大空いっぱいに広がる航空ショーと盛りだくさんの地上展示を目当てに多くのファンで賑わいます。46回目となる今回は海上自衛隊の公式アクロバット飛行チーム“ホワイトアローズ”が初登場。その他、迫力のパフォーマンスが繰り広げられ、ステーキやハンバーガーなどのアメリカンフードも楽しめます。



青少年奉仕月間に寄せて

国際ロータリー第2710地区 2024-25年度 青少年奉仕委員会カウンセラー 杉川 聡

新緑が目目に鮮やかな好季節を迎えました。ロータリーの精神である「奉仕の理想」は、時代を超えて輝きを増し、私たちロータリアンの活動の原動力となっています。この5月は未来を担う青少年への奉仕に焦点を当てる「青少年奉仕月間」です。この特別な月にあたり、次世代の育成にかける私の想いを皆様にお伝えしておきたいと思えます。

私たちロータリーは創設以来、青少年の健全な成長を支援することを重要な使命の一つとしてきました。それは、青少年こそが未来社会の担い手であり、彼らの成長こそが地域社会、ひいては国際社会の発展に不可欠であると信じているからです。知識や教養を身につける機会の提供、リーダーシップや奉仕の精神を育む活動の支援、そして何よりも、彼らが持つ無限の可能性を信じ、その成長を温かく見守ることが、私たちロータリアンの責務であると考えます。

現代社会は目まぐるしい変化と複雑な課題に満ちています。情報化の波は津波のように押し寄せ、グローバル化は私たちの生活様式を一変させました。このような時代を生きる青少年たちは、多くの可能性を秘めている一方で、将来への不安や孤立感、社会とのつながりの希薄さといった課題にも直面しています。だからこそ、私たちロータリーの青少年奉仕活動は、これまで以上に重要な意味を持つと言えるでしょう。

ロータリークラブは地域社会に根ざした活動を通じて、青少年たちが社会の一員としての自覚を持ち、他者との協調性やリーダーシップを発揮できる機会を提供しています。例えば、奨学金制度による経済的な支援、地域清掃活動やボランティア活動への参加促進、異文化理解を深める国際交流プログラムの実施など、その活動は多岐にわたります。これらの活動を通して、青少年たちは自己肯定感を高め、社会性を育み、困難に立ち向かう力を養っていきます。

特に近年力を入れているのは、青少年指導者育成プログラム(RYLA)です。変化の激しい現代において、主体的に考え、行動し、周りを巻き込みながら課題を解決していく力は、青少年たちが未来を切り拓く上で不可欠な要素です。ロータリーはワークショップやセミナー、ロールプレイングなどを通じて、青少年たちがリーダーシップの基礎を学び、実践する場を提供しています。これらの経験は、彼らが将来、地域社会や国際社会のリーダーとして活躍するための礎となるでしょう。

また、ロータリーの青少年奉仕活動は、単に支援を提供するだけでなく、ロータリアン自身にとっても大きな学びの機会となっています。青少年たちの未来への希望に満ちたエネルギーに触れることで、私たち自身の奉仕の原点を再確認し、新たな活力を得ることが出来ます。青少年との交流を通して、私たち自身も成長し、より良い社会の実現に向けて貢献していくことができるのです。

青少年奉仕月間である5月は、私たちロータリアン一人ひとりが青少年育成の重要性を改めて認識し、具体的な行動に移すための絶好の機会です。各ロータリークラブにおいては、地域の実情や青少年のニーズに合わせた青少年奉仕活動が展開されていると思います。これらの活動を通して、青少年たちが未来への希望を抱き、社会の一員として自信を持って歩んでいけるよう、温かい支援をお願いいたします。

結びに、青少年たちの未来は、私たちの行動にかかっています。彼らの可能性を信じ、共に成長していくことこそ、ロータリーの奉仕の精神の真髄です。青少年奉仕月間を通して、地域社会全体で青少年育成への関心を高め、より良い未来を築くための連帯を深めていきましょう。

G3 テーマ
世界と共に変化成長するロータリー

グループ3ガバナー補佐 山路 太郎



3月8日(日)防府グランドホテルにて、上田文雄ガバナー、伊藤進吾地区代表幹事などの来賓をお迎えし、G3・6クラブより約200名の会員の参加を得て、防府北クラブをホストクラブとして、IMを開催しました。

ガバナー信条を基に、今回のIMのテーマは世界と共に変化成長するロータリーとし、第1部は米山奨学生の学友で中国湖南工業大学程杼祺専任講師による米山奨学生としてRotaryで学んだ事と世界を結ぶ懸け橋の重要性について、第2部は神戸学院大学中田教授による災害の実態と災害医療で災害時における医療活動について、感染症と地震・豪雨災害対応の実際についてお話を伺いました。お二人の話は私達が余り知らない現場の話でしたので本当に良い学びとなりました。第3部は恒例のG3・6クラブの活動の発表を致しました。

懇親会は市内の華城小学校プラスバンドと自衛隊の太鼓をお招きして「可愛ささと力強さ」の競演で大いに盛り上がり懇親を深め、最後に次年度馬越帝介ガバナー補佐の万歳三唱で終えました。

終わりに、鬼武実行委員長はじめ防府北ロータリークラブ、多くの方のご協力に感謝申し上げます。

G4 テーマ
「DEIの理解を深めよう」

グループ4ガバナー補佐 竹村 恭典

3月22日に上田文雄ガバナーを来賓にお迎えし、グループ4の115名が集いました。

開会セレモニーの後、「DE&Iを知る、理解する、奉仕活動に活かす」と題した周南公立大学経済経営学部講師稲垣 円(みつ)氏による基調講演、稲垣講師をモデレーターに各クラブのパネリストによるパネルディスカッションと続きます。

稲垣講師のご講演はとてもわかりやすく、DEIの基本概念、公平と平等の違い、DEIを阻害するアンコンシャスバイアス、DEI実現

の土台となる心理的安全性と心理的柔軟性などについて明快に解説していただきました。DEIが社会奉仕活動だけでなく地域社会を形作るすべての組織にとって重要な視点であること、単なる多様性のみならず包摂性(インクルージョン)をもって初めて相互理解や尊重の生まれる仕組みとなること等、わかっているようで臆気だった輪郭がはっきりと見えてきたような気がします。またパネルディスカッションでは、各クラブの社会奉仕活動やそのきっかけにも触れ、地域社会に根ざしたニーズに応える意義を再確認しました。

点鐘の後は和やかに懇親会です。徳山ロータリークラブが楽器の支援をしたご縁で「障がいのある人の居場所を作り新しい機会と希望を想像すること」を目的に2001年に結成された音楽サークル「楽団・みかんの花」の皆さんが演奏してくださいました。バンド名には「甘いのも酸っぱいのもあるみかんと同様、人もいろいろな人がいてあたりまで、それぞれが個として尊重され認められ、その人なりの花を咲かせることのできる社会をつくらう」というメッセージが込められているそうで、まさにこの日のテーマDEIそのもの!!丁寧で一生懸命な演奏に心を打たれました。



G5 テーマ
「今ロータリアンに出来る事」

グループ5ガバナー補佐 鎌田 俊樹

2025年3月15日、グループ5のIMを開催いたしました。卓話者はKara Corbin Rusnokさんと松林慎司さんの2名と少し欲張りなプログラムとなりました。

Rusnokさんは岩国米軍基地司令官の奥様ですが、高校生の頃、Youth Exchange Programでインドに一年間滞在され、その間に現地で発生したベストへの対応や彼女のその後の人生にこのプログラムが与えた影響などを詳細に語っていただきました。“ロータリーは良い事をしている”と盛んにおしゃっていたのが印象的で、ロータリーの価値を再認識いたしました。異文化というか多様性というものへの理解が海外暮らしの多い彼女にとっては出発点になったのだらうと思いました。

インターシティミーティング開催報告



松林さんは岩国出身の映画俳優で、ちょうど岩国を舞台にした映画「かぶと島の浮く日」を制作中です。映画館が一軒もなくなった寂しさとそんな地方の再生をテーマとして、主に地元岩国で撮影を行っているそうです。地方からの文化の発信に取り組む姿勢とわたしたちロータリアンが奉仕を通じて取り組む姿勢に相似性を感じて講演をお願いしました。映画作りの大変さや役を演じる際の思いなど、作ることの大切さを教えられた気がしました。

懇親会では我がメンバーが2名参加している雅楽の演奏と舞で厳粛な気分も味わえた宴で最後を締めることができ感慨深い一日でした。

G9

テーマ
変革、エシカル&サステナブルな企業活動、
ライフスタイルへの転換

グループ9ガバナー補佐 亀田 茂 登

2025年4月5日(土)、グリーンヒルホテル尾道にて上田ガバナーご出席のもと107名の参加者で盛大に開催いたしました。

2021年に国際ロータリーの7つ目の重点分野として環境分野が追加されました。そこで、環境分野という観点から、基調講演として一般社団法人日本サステナブル・ラベル協会代表理事・一般社団法人日本エシカル推進協議会副会長・山口真奈美様による「変革、エシカル&サステナブルな企業活動、ライフスタイルへの転換」と題して、講演を頂きました。より良い未来のために、環境やその他の課題について、家庭や企業により良いことが出来ないか考える契機となりました。



懇親会では市伝統の奇祭「尾道ベッチャー祭り」の3鬼神も登場し、大変盛り上がり楽しい宴となり、グループ内の親睦が深められました。

各クラブ会長・幹事はじめ、ご出席頂きました会員の皆様に感謝とお礼を申し上げます。

G12

テーマ
行動しよう、未来のために。
＝変革に取り組もう＝

グループ12ガバナー補佐 佐川 精



3月23日(日)東城自治振興センターにてグループ12のIMを、上田ガバナーにご臨席いただき「行動しよう、未来のために。＝変革に取り組もう＝」をテーマに開催されました。当日の登録者数127名。小規模ではありますが、会員増強はもちろん各クラブの方向性や問題を考え、相談し実り多き1日でありました。開会式当初、庄原RC角田 守会員のご冥福をお祈りする黙とうから始まりました。続く基調講演では、呉工業高等専門学校・環境都市工学分野教授・神田佑介様を迎え、当地域の問題になっております芸術線問題を交通だけではなく、地域のまちづくりという大きな観点からの交通計画を考えることで、多方面の可能性を感じ考え、意識の統一向上によりまだまだ可能性がある地域づくりを目指すことができることを、みんなで確認できました。また、各5クラブの意見発表では日頃の活動をテーマに沿って発表していただき、お互い刺激を受け有意義な意見交換の場になったことは、この後の懇親会で大変盛り上がり、グループ12の明るい将来を感じることができました。今後は、次年度ガバナー補佐を支え、他クラブに声をかけグループ12の発展計画の約束をし、少しでも力になれば幸いです。

また、ホスト役を務めていただきました名越圭佑実行委員長をはじめ、東城RCの皆様にも厚く感謝申し上げます。



RYLA開催報告

国際ロータリー第2710地区 2024-25年度 RYLA実行委員長 **山本茂男**

2025年3月8日～9日までの1泊2日、山口県岩国市錦町に受講生とロータリアン、スタッフなど総勢約50名が集い、RYLAを実施開催しました。

『行動しよう、未来のために。』の今年度上田ガバナーの方針に基づき、過疎地域となっている錦川上流域において、錦川鉄道を通して地域活性化に取り組んでいる錦川鉄道(株)代表取締役・廣田幹氏と(株)堀江金物店代表取締役・堀江甲士氏に依頼しました。お二人は人が減少していくのをただ傍観することなく、自分たちに一体何ができるのだろうか、どうすれば人々にこの地域の良さをわかってもらえるだろうかと、汽車内イベントや町おこし事業をしながら、他地域へ赴いて学ぶなど、伝統を尊重しながら新しいことも取り入れています。地域活性化のために情熱を傾けてきたその思いと、事業を通して培ったリーダーシップを若い人に学んでもらい、そして、青少年奉仕活動に取り組むロータリアンの方々に、受講生が

成長していく姿を見守ってほしいという思いで、今回の企画開催となりました。また、去年もロータリアン講師を務められた三田RRCの安行英文氏にリーダーシップとはどういうものなのかということを講演していただきました。

今回のワークショップは受講生だけでなく、リーダーとして学んでこられたロータリアンの方々にも参加していただき、受講生と一緒に地域活性化にどのようなことができるのかアイデアを出してもらい、発表もしていただきました。受講生もロータリアンの方々も限られた時間の中、グループごとさまざまな意見を交わされいて、大変有意義な時間となりました。

今回、RYLAを開催させていただき、至らぬ点多々あったかと思いますが、参加された皆様の成長と交流の一助となりましたら幸いです。ご参加いただいた方々、会場内外のスタッフの皆様、誠にありがとうございました。





会長エレクト研修セミナー(PETS) &地区チームラーニングセミナー報告

国際ロータリー第2710地区 2024-25年度 ガバナーエレクト 土肥慎二郎

2025-26年度の会長エレクト研修セミナー&地区チームラーニングセミナーは、2025年3月16日にホテルグランヴィア広島にて開催されました。

これまでとは違って、次年度から国際ロータリー(RI)会長の年次テーマが無くなりました。“継続性”を重要視しているRIは昨年7月の理事会において、行動計画の推進がRI会長の年次テーマの設定よりも大切であるとして、ロータリー章典から「RI会長による年次目標」の項目を削除しました。

そして、先の国際協議会においてマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴRI会長エレクトは、ロータリーの行動計画を推進させるメッセージとして、「UNITE FOR GOOD」「よいことのために手を取りあおう」を発表しました。

私は会長エレクトの皆様主に3つのことを申し上げました。それは〈①ロータリー活動の基本はクラブです〉〈②ロータリーを楽しんでください〉〈③マイロータリーを利用してください〉です。

その上で、基調講演として第1地域の公共イメージコーディネーター補佐の田中久夫パストガバナー、テーマ別研修では各委員会4名のカウンセラーの皆様に講演をいただきました。その後は会長エレクト部門と地区チームラーニング部門に分かれて研修を行いました。



マリオ会長エレクトは、とにかく会員増強、会員増強こそがロータリーが今後成長する組織として最も重要なことだと強調されました。と同時に、その方法は地域によって異なるべきだと述べています。

「韓国で成功したものがドイツで成功するとは限らず、ドイツで成功したものがブラジルや米国で成功するとも限りません。私たちは謙虚に、異なる状況に細心の注意を払わなければなりません」(マイロータリー2025.2.25記事より)

この分断されがちな世界において、今一度ロータリアン同士がよいことのために手を取りあい、日本の特性を活かしながらロータリーを楽しむ、そんな1年になることを夢描いております。どうかよろしく願い致します。



国際ロータリー第2710地区 新会員・物故会員紹介



三上 寛彰
下関東RC
2025年3月13日
貿易業



杉尾 俊典
下関北RC
2025年3月11日
食品製造業



中野 秀行
下関北RC
2025年3月11日
設備工事業



林 真一郎
下関北RC
2025年3月11日
不動産



正代 知幸
美祿RC
2025年4月1日
セメント製造・石灰石採掘



楠田 淳子
防府南RC
2025年4月10日
生命保険販売業



中谷 則夫
防府南RC
2025年4月10日
地方銀行



白石 誠
岩国RC
2025年4月3日
新聞(地方)



永見 茂徳
柳井RC
2025年3月4日
電気事業



一橋 俊秀
広島安芸RC
2025年3月4日
自動車部品輸送



鈴木 貴大
広島西南RC
2025年3月25日
税理士



村中 隆志
広島西南平和ロータリー衛星クラブ
2025年2月5日
人材派遣業



山台 倫安
三次RC
2025年4月3日
送配電事業

謹んで
哀悼の意を
表します



広島RC 故 大野 輝夫 殿
2025年3月25日 ご逝去(享年95歳)

ロータリー歴
1989-90年度 会長
ベネファクター ホール・ハリス・フェロー
第4回米山功労者マルチプル
職業分類/精油配布



福山東RC 故 渡邊 政佑 殿
2025年3月11日 ご逝去(享年86歳)

ロータリー歴
2008-09年度 副会長
ホール・ハリス・フェロー4回 準ベネファクター 準米山功労者
メモリアルコンピュータ 米山功労者3回
職業分類/鋼材加工販売

国際ロータリー第2710地区 2024-25年度会員増減・出席率(2025年3月度)

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初7/1	当月末日	内女性	本年度入会	本年度退会
1	長門	96.94	23	23	3	1	1
	下関	69.22	43	44	2	2	1
	下関中央	72.06	42	40	6	0	2
	下関東	79.71	66	66	4	5	5
	下関北	72.81	54	59	4	10	5
	下関西	80.78	34	33	0	1	2
	計	78.59	262	265	19	19	16
2	萩	82.11	46	43	3	1	4
	萩東	93.54	24	25	1	1	0
	美祿	79.55	20	18	1	0	2
	小野田	83.50	34	36	3	2	0
	宇部	95.06	39	41	5	4	2
	宇部東	73.04	9	9	1	0	0
	宇部西	89.90	47	50	6	7	4
計	85.24	219	222	20	15	12	
3	防府	84.55	53	58	2	7	2
	防府北	76.28	24	25	4	2	1
	防府南	86.14	44	49	10	5	0
	山口	76.47	46	46	5	4	4
	山口県央	86.34	25	24	1	0	1
	山口南	94.17	40	40	7	2	2
	計	83.99	232	242	29	20	10
4	光	76.16	53	53	3	2	2
	周南西	81.75	54	52	6	2	4
	徳山	99.22	42	40	2	1	3
	徳山セントラル	73.02	20	21	2	1	0
	徳山東	100.00	41	37	1	0	4
計	86.03	210	203	14	6	13	

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初7/1	当月末日	内女性	本年度入会	本年度退会
5	岩国	77.85	66	66	1	2	2
	岩国中央	88.10	37	38	6	2	1
	岩国西	85.93	60	64	5	4	0
	柳井	99.79	27	26	1	2	3
	柳井西	99.06	26	27	6	1	0
	計	90.15	216	221	19	11	6
6	広島	99.16	121	123	3	16	9
	広島安芸	98.21	39	34	3	1	6
	広島安佐	82.48	15	15	2	1	1
	広島東	95.95	111	110	10	8	9
	広島北	94.81	101	101	0	4	4
	広島陵北	97.58	45	44	2	0	1
大竹	85.26	27	21	0	1	7	
計	93.35	459	453	20	31	37	
7	広島中央	99.32	69	64	6	1	6
	広島廿日市	81.98	25	25	3	4	4
	広島城南	99.63	41	41	4	1	1
	広島南	100.00	83	88	0	5	0
	広島東南	100.00	89	86	12	6	9
	広島西南	94.80	70	77	5	8	1
広島西	99.36	89	90	6	3	2	
計	96.44	466	471	36	28	23	
8	江田島	95.68	17	16	0	0	1
	東広島	85.32	22	22	3	1	1
	東広島21	86.26	15	17	4	3	1
	呉	88.89	74	68	5	3	9
	呉東	80.75	30	34	2	6	2
	呉南	83.33	51	45	1	0	6
西条	99.51	39	43	1	4	0	
計	88.75	248	245	16	17	20	

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初7/1	当月末日	内女性	本年度入会	本年度退会
9	広島空港	82.07	26	30	4	5	1
	因島	97.73	16	16	0	0	0
	三原	88.67	50	49	1	0	1
	尾道	72.67	79	78	2	2	3
	尾道東	89.18	48	48	7	0	0
	竹原	55.00	10	0	0	0	10
計	80.89	229	221	14	7	15	
10	府中	84.99	13	14	2	1	0
	福山	91.39	85	79	2	3	9
	福山東	73.49	39	34	2	1	6
	福山丸之内	85.85	26	25	1	0	1
	鞆の浦	89.12	16	16	0	0	0
	福山REC2710*	100.00	7	8	1	1	0
計	87.47	186	176	8	6	16	
11	福山赤坂	72.01	52	55	4	3	0
	福山北	94.53	33	33	2	1	1
	福山南	73.09	57	59	4	3	1
	福山西	89.03	39	45	4	7	1
	松永	89.38	52	53	6	2	1
	計	83.61	233	245	20	16	4
12	吉舎	90.12	9	9	0	0	0
	三次	72.74	40	40	1	2	2
	三次中央	89.64	36	34	5	0	2
	庄原	91.85	29	28	3	0	1
	東城	84.42	14	14	1	0	0
計	85.75	128	125	10	2	5	
第2710地区計	86.42	3088	3089	225	178	177	

*正式名称「福山ロータリーEクラブ2710」